

# G検定 時系列分析

## 3回分の試験結果を徹底解析

シラバス分野別の得点率推移から、成長トレンドと課題を明確化。データドリブンなアプローチで、合格ラインへの最短経路を提示します。

分析対象

3回分の試験結果

評価分野

8つのシラバス分野

分析手法

時系列トレンド分析

目標

合格ライン 70% 達成



# 試験結果の概要

3回分の試験における全体的な平均得点率の推移と各分野の成績（1回目と3回目データ入れ替え版）

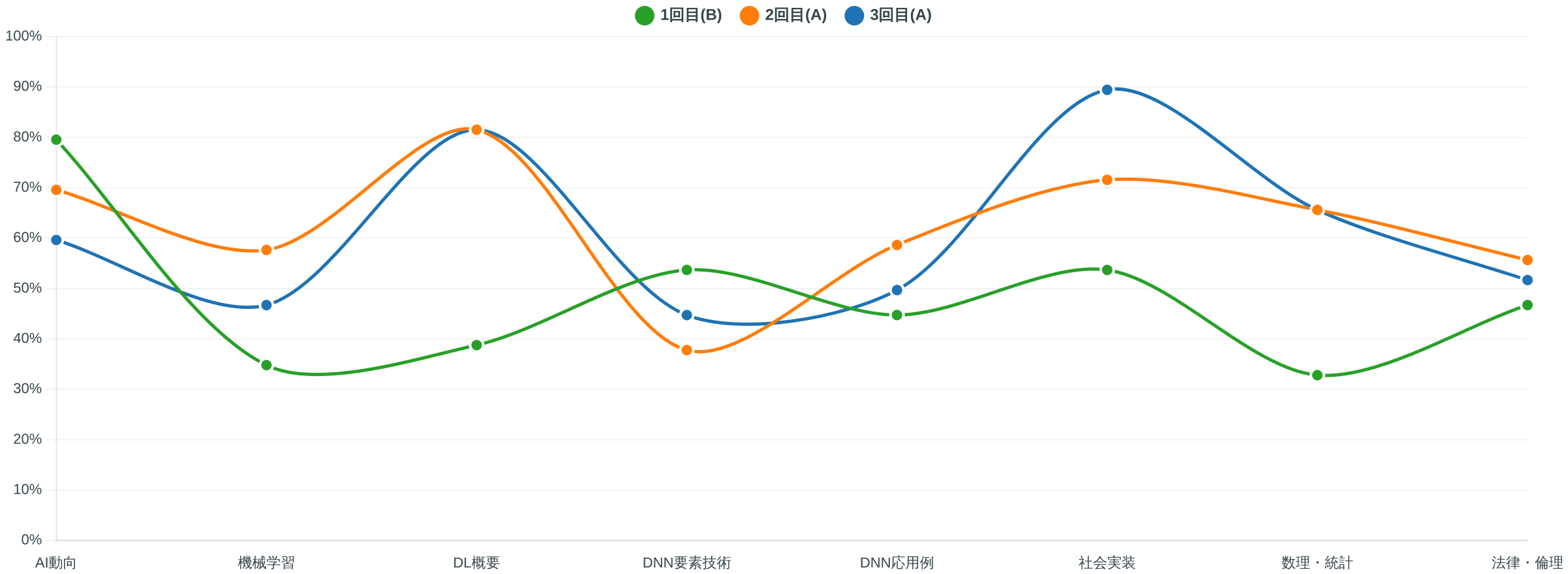
1回目(B) 48.4% 平均得点率	2回目(A) 62.6% 平均得点率	3回目(A) 61.5% 平均得点率	合格ライン 70% 目標得点率
--------------------------	--------------------------	--------------------------	-----------------------

## シラバス分野別 得点率比較

分野	1回目(B)	2回目(A)	3回目(A)	平均	傾向
AI動向	80%	70%	60%	70%	↓ 低下 
機械学習	35%	58%	47%	47%	↑ 改善 
DL概要	39%	82%	82%	68%	→ 安定 
DNN要素技術	54%	38%	45%	46%	↓ 低下 
DNN応用例	45%	59%	50%	51%	↓ 低下 
社会実装	54%	72%	90%	72%	↑ 上昇 
数理・統計	33%	66%	66%	55%	↑ 改善 
法律・契約・倫理・ガバナンス	47%	56%	52%	52%	↑ 改善 

# 時系列トレンド分析

8つのシラバス分野における得点率の3回分の推移を可視化（1回目と3回目データ入れ替え版）



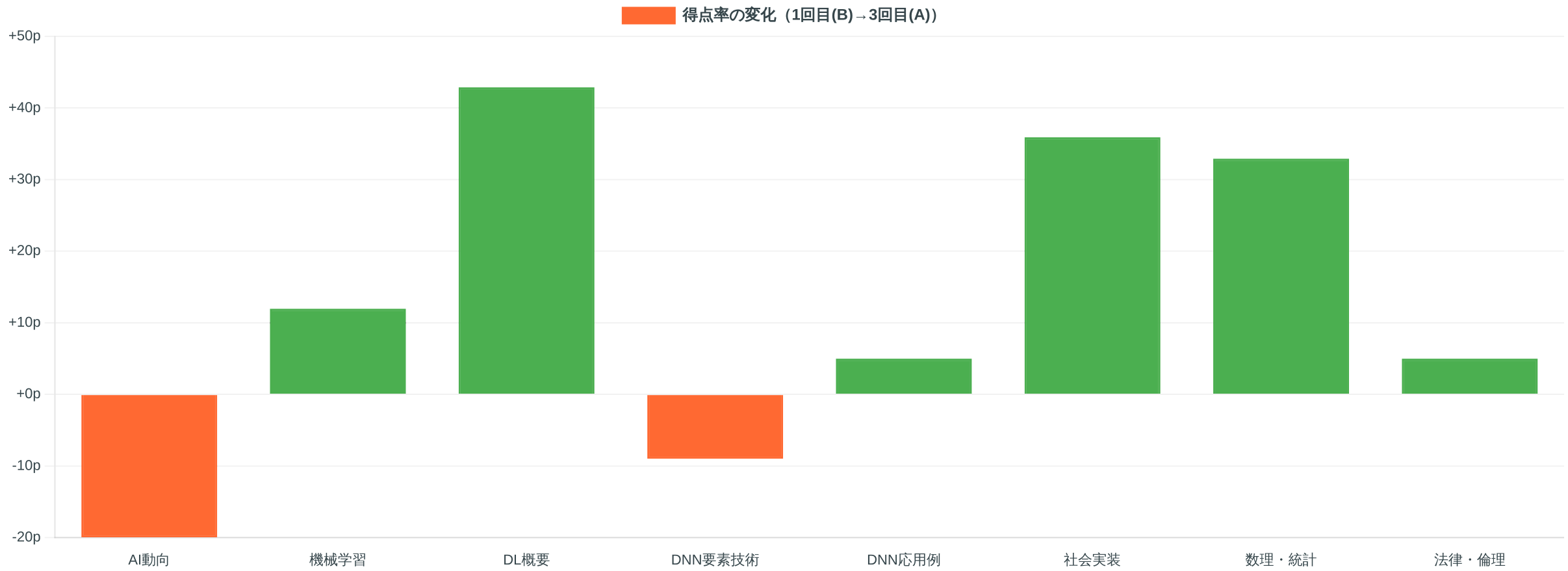
# 3回分の得点率比較

3つの試験における各分野の得点率を棒グラフで並べて比較し、分野ごとの得点パターンを明確化



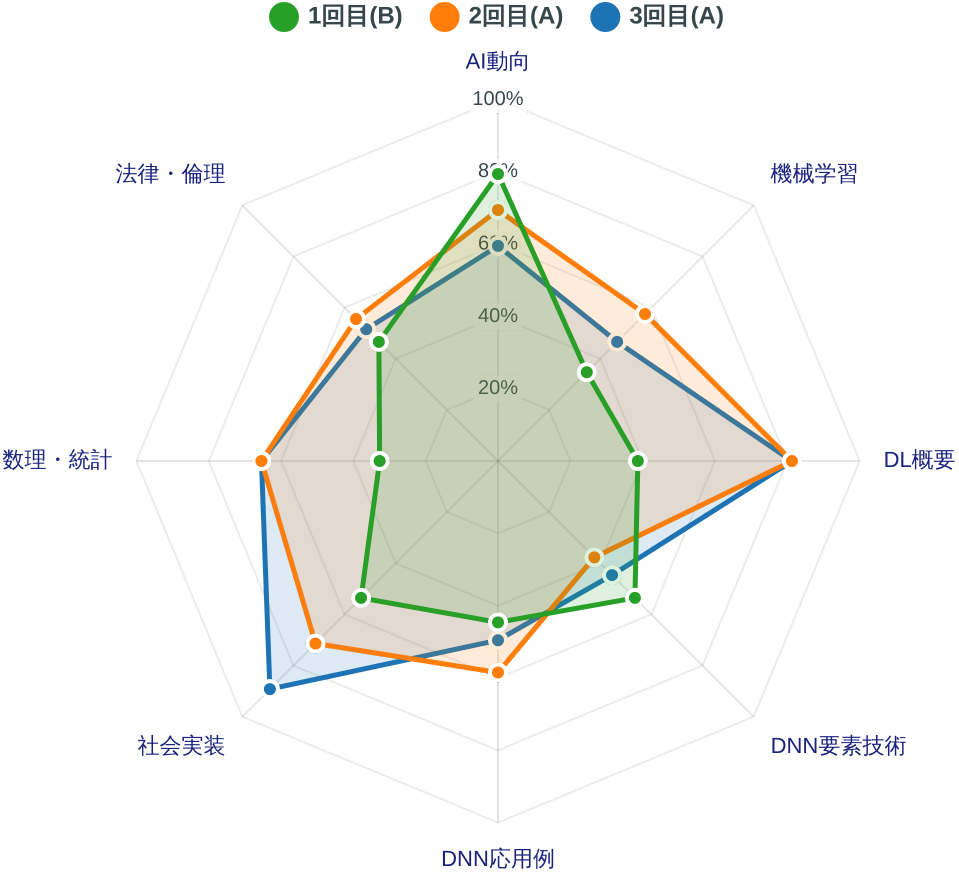
# 得点率の変化分析（1回目 → 3回目）

各分野における1回目(B)から3回目(A)への得点率の変化を可視化



# 分野別得点率の全体像

レーダーチャートで3回分の試験結果を重ねて表示し、全体的な得点パターンと改善の方向性を可視化



# 主要な洞察と課題

時系列分析から得られた重要な発見と、今後の学習戦略の提示

✓ 主要な洞察
社会実装への適応力の向上 54% → 90% と大幅に上昇。実践的な応用知識の習得が顕著に進んでいます。
基礎理論の不安定性 1回目(B)で数理・統計(33%)、DL概要(39%)が低迷。基礎理論の理解に課題があります。
試験難易度の変動 1回目(B)と3回目(A)で得点パターンが大きく異なり、出題傾向や難易度の変化が顕著です。

△ 改善すべき課題
【最優先】数理・統計 1回目(B)で33%と最低。確率論・統計学の基礎理解が極めて不足しています。
【最優先】DL概要 1回目(B)で39%と低迷。ニューラルネットワークの基本概念の再学習が急務です。
【優先】機械学習 1回目(B)で35%と低い。基本アルゴリズムの理解を数理・統計と並行して強化が必要です。

推奨学習戦略 (8～12週間)		
第1段階 基礎固め (3～4週間) 対象: 数理・統計、DL概要、機械学習 目標: 各分野60%以上 学習時間: 週20～25時間	第2段階 応用力強化 (2～3週間) 対象: DNN要素技術、DNN応用例 目標: 各分野65%以上 学習時間: 週15～20時間	第3段階 総仕上げ (2週間) 対象: 法律・倫理、AI動向、社会実装 目標: 全分野70%以上 学習時間: 週15～20時間